

一人の「人」として

周囲の人は、親も一人の人間であることを理解し、みんなで子育てを支えることが大切です。自分らしい子育てのために、周囲の人は何ができるのか、すくすく保育研究所理事長の堀田菜菜江さんに話を聞きました。

一人の「人」として 笑顔で接し、応援し続けたい

今のお母さんたちは、計画的に子育てをしている人が多く、感心します。しっかりしている反面、自分が頑張らなくてはという気持ちから、笑顔が忘れていくように感じます。

私自身、登米市で3人の子どもを育てましたが、子育て中は周りに気を遣い謝ってばかりで、孤独を感じることが多くありました。赤ちゃんを連れていくだけで、周りからは楽しそうに思われる。意外と子育ての大変さを理解してくれる人が少ないことに気が付きました。お母さんは子育てをして当たり前。市民活動などに参加しても、どこか周りからは子育てだけをしていればいいのという雰囲気を感じました。その経験から、今はお母さんたちを「〇〇ちゃん

んママ」でなく、名前で呼んでいます。子育て中のお母さんは、ママ友ができるお互いに相談し、支え合える関係になることができませんが、グループに入ることが苦手な人も多くいます。私や、すくすくステーションのスタッフは、そんな人たちを孤独にしないことを一番に考えています。初めての利用者には積極的に話しかけ、出身地や趣味など他の利用者との共通点を見つけて、人と人をつなぐことを意識しています。

人は、笑顔を交わすこと、話すことで必ず気持ちが楽になります。周りの人たちは、それを理解し、とにかく話を聞いてあげてください。話すことで人とのつながりに安心することができます。



すくすく保育研究所理事長
堀田 菜菜江さん(54)＝中田町新田＝

子育てを支援する「すくすくステーション」や絵本を読みながら子どもとゆったりした時間を過ごせる「えほんカフェ おひさまの国」などを運営。子育て中のお母さんたちを、日々現場で支えています。



「えほんカフェ おひさまの国」では、約300冊の絵本と落ち着いた空間の中で、お母さんや子ども同士が気軽に交流できます。



すくすくステーションでは、スタッフが利用者一人一人に寄り添い、一人の人として、真剣に向き合っています。

子育て掲示板

一時保育

保護者がリフレッシュや就労、求職活動、通院などで、一時的に保育所などの施設を利用したいときにご利用ください。

【利用対象児童】市内に住所を有し、保育施設や幼稚園に通っていない1歳以上(利用開始日を基準とした満年齢)の未就学児が対象です。

【利用の手続き】①各総合支所市民課で申請してください。後日、申請内容を確認し、承認通知を発送します②承認後、保護者が利用を希望する保育所などへ連絡し、日程の相談や面談をします③利用当日、申込時間までに子どもを連れて申込施設へ来てください④利用した翌月に利用料の納付書を発送します。指定された金融機関で納付してください

☎福祉事務所子育て支援課(子ども保育係)
☎0220(58)5562

こんにちは赤ちゃんサロン

子育て、妊娠中の人同士で、出産や育児についてお話しできます。出産経験者や助産師、保育士などからさまざまな話が聞けます。

【対象】市内在住の妊婦さんから乳児期の保護者
【場所・日時】迫児童館＝5月31日(金)午前10時～11時30分(受け付け＝午前9時40分～)

【持ち物】親子手帳、筆記用具

【内容】「子どものおもちゃを作ってみよう！」

①気になること、自分の気持ちなどを語り合おう

②楽しく仲間、親子で過ごそう

③専門スタッフ(保育士・助産師)からのワンポイントアドバイス

☎市民生活部健康推進課(健康推進係)

☎0220(58)2116



誕生祝金の対象を拡大

これまで、第3子以降を対象に、誕生祝金10万円を市から支給していましたが、平成31年度からは、第1子に3万円、第2子に5万円、第3子以降に10万円を支給します。

なお、満1歳未満の乳児を対象に交付していた子育て用品券は、平成30年度をもって交付を終了します。

※交付済みの子育て用品券は、引き続き利用できます

☎福祉事務所子育て支援課(児童福祉係)

☎0220(58)5562

相談窓口一覧

●子どもに関する悩み相談

窓口名	相談曜日・時間	電話番号
家庭児童相談室 (福祉事務所子育て支援課内)	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0220(58)5562
県東部児童相談所	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0225(95)1121
児童相談所全国共通ダイヤル	24時間対応	189
県東部保健福祉事務所 登米地域事務所 (母子・障害班)	平日午前8時30分～ 午後5時15分	0220(22)6118
キャブネット・みやぎ (子供虐待防止ネットワーク・ みやぎ)	月～土曜午前10時～ 午後1時(祝日を除く)	022(265)8866

※各総合支所市民課(健康づくり係)でも相談できます

●緊急の場合

夜間に子どもの急な発熱、怪我で、すぐに受診させた方が良いか迷った時はご連絡ください

窓口名	相談曜日・時間	電話番号
宮城県 こども夜間安心コール	午後7時～ 翌朝午前8時	プッシュ回線の固定 電話、携帯電話の場合「#8000」 プッシュ回線以外の 固定電話、PHSなど からは「022(212) 9390」

自分らしく あなたのママでー。

「子育て」という短い言葉の中には、たくさんのかたち、悩み、思いがあります。一人一人違う大人が、個性豊かな子どもたちを育てています。市内だけでも「子育て」のかたちは想像できないほどの数があるはず。悩みを解決する方法もさまざまありますが、自分らしさを意識してみることがその一つの方法ではないでしょうか。

今まで、20年、30年と生きてきた中で、本当に一人だけで生きてきた人はいないはず。つらかったり悲しかったりしたときは、周りに相談し、時には感情的になりながらも、周囲の支えがあって、さまざまな場面を乗り越えてきたと思います。子育てだけが特別ではありません。今までたくさんの壁を乗り越えてきた自分を思い出し、無理せず「あなたのままで」いることが解決の糸口になります。

支援センターなど、市内のいろいろな場所で、子育ての大変さを理解してくれる人や同じ立場の人たちの優しさが、悩みを抱えるあなたを待っています。